

坂浜地区

令和4年10月15日 (坂浜コミュニティ防災センター)

No.	質問内容	回答
1	第7派コロナ禍における稲城市のコロナワクチン接種の状況を伺いたい。	市では、5～11歳の方を対象とした1・2回目の小児接種、12歳以上の方を対象とした1～3回目接種、60歳以上の方や18～59歳の基礎疾患を有する方などを対象とした4回目接種を並行して実施しているところ。 また、10月以降、小児（5～11歳）への3回目接種、1・2回目接種を完了した12歳以上の方への2価ワクチン（※）の接種を進めていく。 適宜、チラシや動画などを活用した接種啓発を行っており、接種の推進に努めているところであり、ぜひ接種への協力をお願いしたい。 ※従来株とオミクロン株に対応したワクチン
2	稲城市立病院の新型コロナに関する運営・対応など現状を伺いたい。	本来であれば、新型コロナ陽性者の医療へのつなぎの役割は保健所が担い、市はあくまで後方支援だが、保健所だけでは陽性者の増加に対応しきれず、医療機関の責務として稲城市立病院でも対応を行っているところ。 外来については、通常の院内での診察とは別に、発熱者を対象に発熱外来を開設しており、医師が必要と認めればPCR検査や処方箋の発行を行っている。PCR検査の結果については、原則検査日の翌日の夕方以降に電話連絡し、その後、原則ご自身で陽性者である旨保健所へ連絡していただいている。例外として、重症化の恐れがある場合や妊婦等は市立病院から保健所へ陽性者である旨連絡している。 入院については、一つの病棟を新型コロナ専用病棟として対応しており、原則、保健所からの要請により入院患者の受け入れを行っており、現在、陽性者の入院患者受入定員は18名としている。 財政的には厳しい中、公立病院として責務を果たしている。
3	市としての新型コロナへの対応策について伺いたい。	基本的な感染対策を継続して実施しており、メール配信やHP、広報等を通じて市民の皆様にも手洗い・うがい・マスク着用等の対策をお願いしているところ。 ワクチン接種状況についてもメール配信や学校への通知等で周知を図っている。
4	坂浜コミュニティ防災センター内の坂浜配本所について、開設当初は利用する子どもたちも多かったが、ここ数年は利用する子どもも少なくなった。来年度は閉館して、自治会会員の会議室として利用できないか。	坂浜配本所については、坂浜地域での「ミニ図書館」のような機能を果たしてきたが、近年利用者が減少していること等から、今年度末に閉所する方向で検討しており、アカシア文庫の了解もいただいている。具体的な時期等は詰めていくが、閉所したら自治会に場所をお返しする方向で動いている。 坂浜配本所の歴史等についてはデジタルアーカイブの形で残せないか検討するよう担当課に伝えている。

No.	質問内容	回答
5	第二小学校PTAから通学路危険箇所として要望を出してある坂浜交差点にポールを設置を早急にお願いしたい。	令和4年9月13日(火)に実施した第二小学校の通学路合同点検において、天神通りを下って坂浜交差点を鶴川街道へ左折する車両の巻き込み事故防止について、都道を管理する南多摩東部建設事務所と現場で協議した結果、ポールの設置は不可能との回答だったが、市では善後策として、年内を目途に天神通りの交差点手前左側路面にゼブラゾーン(導流帯)を設置し、視覚的な効果で車両が歩道から距離をとって左折するように誘導する。また、児童が信号が青に変わるのを待つ際に車道にはみ出ず、歩道内で待機するよう、学校及び家庭でも安全教育にも努めていただくこととなった。 交通対策(信号や横断歩道の設置等)は、警察が所管の場合が多く、市がすぐに対応できないことも多いが、毎年必要と思われる箇所については100力所以上警察署に改善要望をあげている。
6	坂浜2822～2772番地付近の市道の幅員が狭く、U字溝に蓋がなく危険なため、蓋をしていただくか改修工事をお願いしたい。	U字溝の蓋掛けや、改修工事での車道幅員の拡幅につきましては、施工方法なども踏まえ、検討していく。
7	城山体験学習館で市民活動を行っているが、活動に使う備品等をロッカーに保管させて欲しいと担当課に相談したところ「不公平になるため保管場所は貸せない」との回答だった。使っていない保管場所があるのに、検討をしていただけなくて残念だった。	建築基準法が厳しくなり、今は敷地内に物置を置くのも困難になり、様々な公共施設で保管場所の確保が厳しくなっている。そうした中で、昔から活動している団体は保管場所を使えて、後から活動を始めた団体は使えない、というような状況等から揉めてしまった経緯があり、「保管場所は貸さない」という整理がされたと認識している。ただ、活動される方も高齢化が進み、備品の持ち運びが大変というお声も頷けるため、各文化センターを管轄する担当課には、何とかできないかという話はしている。